

くりまっこ

元気いっぱい 笑顔あふれる 栗真の子



4年生が福祉に係る学習を行いました！

12月2日(月)に、津市内で盲導犬と生活してみえる内田さんに、お話を聞かせていただきました。内田さんは、平成12年から三重県視覚障害者協会の役員として、平成19年から会長として、視覚障害者の福祉向上や、社会参加など、課題解決に向けた活動を進めてこられました。具体的には、画面の情報を音声で読み上げてくれる視覚障害者向けの音声パソコンの技術指導に取り組んでこられたり、ふだん一緒に行動している盲導犬を連れて小中学校などで講演を行うことを通して盲導犬の理解促進などに努めてきたりしてきました。つい最近の令和5年11月には、長年にわたる功績が認められ、「旭日双光章」を受章されています。

今日の授業では、まず、目の不自由な方が持っている白杖について教えていただきました。

「この白い杖を持っている方がいたら、目が不自由な方なんだよ。」と分かるように、世界基準で決まっているそうです。白杖を使って上手に歩いているけど、万能ではないため、危ないところがあれば、声をかけてほしいそうです。特に背丈以上の高さは分かりづらいそうです。

内田さんからは、目が不自由であるということは、目から入ってくる情報が全く分からないため、信号が青なのか赤なのか、店が何時に開くのかなど、目で見て判断できないことが困るという話がありました。でも、技術が進歩してきたため、生活しやすくなってきた面もあると話していました。例えば、昔は点字で読んでいた文字も、今はパソコンが音声で読んでくれる。スマートフォンのアプリで写真を撮れば、そこに書かれている文字を読み上げてくれるなどです。また、目が不自由だからこそ、人とのコミュニケーションを大切にしていると話していました。特に、自分自身に対して、周りからは言いづらいことがたくさんあると思うので、何でも自分から自分自身のことを伝えるようにしているそうです。そして、目が不自由であっても、人にはなるべく頼まず、何でも自分自身で行動するようにしているそうです。そのような内田さんの生き様は、私たちも見習わなければならないなと思いました。

3代目になる盲導犬デュークとともに来ていただいた内田さんには、他にもたくさんのお話を聞かせていただきました。子どもたちは、内田さんの思いがこもったお話を聞き、伝えられたことをしっかりと受け止めることができましたと思います。



一身田中学校区「子ども人権フォーラム」に参加しました！

11月27日（水）に、一身田中学校区「子ども人権フォーラム」が開催され、本校からも6年生児童代表6名が参加しました。本フォーラムは、「一身田中学校、一身田小学校、白塚小学校、栗真小学校の児童・生徒の代表者が、3つのグループに分かれて意見交流し、意見交流したことを各学校に持ち帰り還流することで、一身田中学校区全体の人権意識を高める」という目的で、毎年開催されているものです。今年のテーマは、「自分の言いたいことが話せていますか？」で、各小学校から問題提起がなされました。栗真小学校が提案する分科会では、「よりよいクラスにするために」という問題提起を行い、意見交流を進めていきました。今回参加した6名は、学級で本フォーラムの還流報告をし、人権意識をさらに高めていく取組を進めます。そして、12月7日（土）に開催される一身田中学校区「人権フェスティバル」の中で、学級での取組を発表することになっています。発表する児童の皆さん、堂々と発表してきてくださいね。



3年生が社会見学に行ってきました！

11月29日（金）に、3年生が社会見学に行ってきました。最初に、肉まんやあずきバーで有名な井村屋を見学しました。ビデオ視聴や工場見学を通して、肉まんなどができあがる過程がよく分かりました。見学後には、選別で不適合になったあずきを利用した「お手玉づくり」をしました。できあがったお手玉は、お土産としていただきました。次に、三重県総合博物館（MieMu）へ行きました。博物館の展示室をグループで見学したあと、みんなで記念写真を撮ってもらいました。その後、外でお弁当を食べました。最後に、三重県庁へ行き、県庁の仕組みと仕事のことを学習してから、屋上へ行きました。屋上から東西南北に見える景色は、とてもきれいでした。空気が澄んだ朝には、富士山が見えることがあるそうです。その後、三重県議会議事堂に入り、県議会議員席で説明を聞いたあと、一人ひとり議長席にも座らせていただきました。めったにできない体験ができて、子どもたちは大喜びでした。

